

2024年4月1日、 建築物の省エネ表示制度はじまるって何だろう？

クラブヴォーバンが2008年から必要性を訴え続けてきた「建築物の省エネ表示制度」が、2024年4月1日からようやく、この日本でも実現することになりました！

あと数か月で始まるこの制度のスタートにより、住宅・ビルなどの建築物の販売・賃貸に従事する人や購入する人、すべての人に大きな影響が予想されます。2050年カーボンニュートラルを実現するために、CO2排出量全体の約1/3を占める住宅・建築物に対し、有効な対策が求められてきました。2024年4月以降、事業者は新築建築物の販売・賃貸の広告等において、省エネ性能の表示ラベルを表示することが必要となります。

これは、販売・賃貸事業者が建築物の省エネ性能を広告等に表示することで、消費者等が建築物を購入・賃借する際に、省エネ性能の把握や比較ができるようにする制度です。住まいやオフィス等の買い手・借り手の省エネ性能への関心を高めることで、省エネ性能が高い住宅・建築物の供給が促進される市場づくりを目的としています。

今回のPJ100セミナーでは、代表の村上から、この制度や省エネ表示の内容について説明します。またこの制度と業界に詳しい晝場氏によって、この制度によって各業界やCO2排出量削減にどのような影響があるのかの解説します。

2024年1月17日(水)
18時半～20時 開催

- ① 村上 敦 「2024年4月1日、建築物の省エネ表示制度はじまるって何だろう？」 (30分)
- ② 晝場 貴之 「省エネ表示制度で何が生じる？」 (30分)
- ③ 質疑応答&ディスカッション

@クラブヴォーバン新橋事務所
(東京都港区新橋2-5-6 大村ビル8階)

※ 終了後近隣飲食店にて懇親会開催 (参加費各自)

事前申し込み要:CVサポーター及び自治体会員のみ
参加費無料 (法人および自治体の方は3名まで)

※ZOOMでは、質疑やディスカッションにはご参加いただけませんが、レクチャーのみご聴講いただけます



村上 敦

環境ジャーナリスト・コンサルタント/ CV代表

ドイツ在住。ゼネコン技術者を経て97年に渡独後、持続可能なまちづくり・交通・エネルギーをテーマとして、ドイツや欧州の先進事例を日本に発信。主な著作「キロワット・イズ・マネー」「ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するのか」「進化するエネルギービジネス」他。



晝場 貴之

(株)イズミシステム設計調査研究部部長 / (一社)日本エネルギーパス協会理事

岩手県出身。日本大学大学院卒。CM会社、ゼネコンを経て日本ERIにて省エネ適判・BELSなどの制度設計に携わる。2023年4月よりイズミシステム設計にて、設計者・事業主へのZEH、ZEB、LCCO2などのコンサルティングを行っている。

■ 問い合わせ・申込み先 ■

一般社団法人クラブヴォーバン
Email mail@club-vauban.net

- ①ご氏名 ②ご所属 (法人および自治体の方) ③メールアドレス
④現地 or オンライン参加 ⑤懇親会参加有無 を明記
後日参加に必要な情報をメールにてご連絡します